



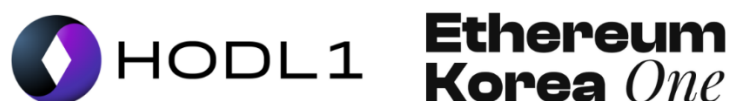
2026年4月7日

各 位

株式会社HODL1
代表取締役CEO 田原 弘貴
(証券コード: 2345 東証スタンダード市場)
(お問合せ先) 取締役CSO 田中 遼
電話番号 03-6427-7380 (代表)

韓国最大級のイーサリアムイベント「Ethereum Korea One」に当社代表取締役の田原弘貴が登壇

当社は、2026年4月16日（木）に韓国・ソウルで開催される「Ethereum Korea One (EK 1)」に、当社代表取締役CEOの田原弘貴が登壇するとともに、Institutional Partnerとして協賛することをお知らせします。



記

1 登壇の意義

当社は、「イーサリアムカンパニーとして、金融インフラの未来を広げる」を掲げ、ETHの長期保有・運用を行う「HODL」事業、とブロックチェーン技術の開発および社会実装を推進する「BUIDL事業」の両軸により、イーサリアムエコシステムの発展に取り組んでいます。かかる事業戦略を推進する当社にとって、今回の登壇はイーサリアムカンパニーとしてのプレゼンスをアジア・グローバルにおいて示す重要な機会と位置付けています。

「Ethereum Korea One」は、Ethereum Foundationの助成を受けた韓国初のEthereumコンソーシアム「Ethereum Korea」が主催する旗艦イベントです。韓国における機関投資家とEthereumエコシステムの架け橋を目的として開催され、銀行・証券・資産運用・フィンテック・公共セクター等、参加者の40%以上を機関投資家が占める150名超が参加する韓国最大級のイーサリアムイベントです。

田原が登壇するセッション「Ethereum as an Asset I: Global Institutional Thesis (資産としてのイーサリアム①：グローバル機関投資家のテーゼ)」は、Ethereum FoundationのAdrian Li氏によるキーノートの直後を飾るセッションとして設定されています。同セッションには、ナスダック上場企業として先駆けてETH DATモデルを採用したSharpLink CEOのJoseph Chalom氏、韓国のETH DAT企業であるParataxis Ethereum CEOのMichael Lee氏が登壇し、当社代表取締役CEOの田原弘貴もこれらグローバルの先行事業者とともに壇上に立ちます。日本の上場企業としてETH DATモデルを実践する当社にとって、本登壇はアジア・グローバルの機関投資家に対してイーサリアムカンパニーとしてのプレゼンスを直接示す、極めて重要な機会と位置付けています。

なお、本件が当社業績に与える影響は軽微です。

2 「Ethereum Korea One (EK1)」について

- ・ イベント名：Ethereum Korea One (EK1)
- ・ 主催：Ethereum Korea Consortium (Ethereum Foundation ESP助成先によるエコシステム貢献プログラムの一環)
- ・ 日時：2026年4月16日 (木) 19:00～21:10 KST
- ・ 会場：DSRVビル B1 (韓国・ソウル江南)
- ・ 参加者：150名超 (EthereumおよびL2財団、韓国主要金融グループ、デジタルアセット関連企業・調査会社 等)
- ・ ウェブサイト：<https://etheriumkorea.io>

3 登壇概要

- ・ セッション名：「Ethereum as an Asset I: Global Institutional Thesis」
- ・ 日時：2026年4月16日 (木) 19:20～19:40 (KST)
- ・ 登壇者：Joseph Chalom (SharpLink CEO)、Michael Lee (Parataxis Ethereum CEO)、田原弘貴 (HODL1 Inc.)
- ・ モデレーター：See Eun Ha (Lava VCパートナー)

以上